

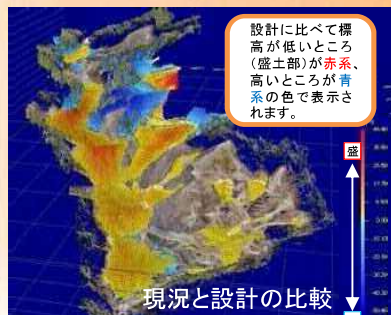
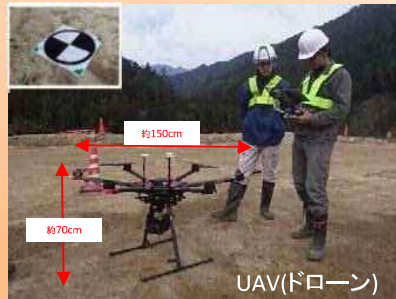
＜ロープ高所作業特別教育＞

4月3日に当現場で「ロープ高所作業特別教育」を実施しました。現場内に多数存在する急傾斜の地山や法面のような施工箇所では、ロープで身体を保持する「ロープ高所作業」を行う必要があります。ロープ高所作業では、身体を保持するロープの結び目がほどけたり、ロープが切れたりすることによって墜落する事故が発生しやすいことから、特別教育の受講が義務付けられています。当現場では、主に法面保護工がこの作業に該当し、場合によっては伐採工においても斜面での作業が必要になります。この特別教育を該当作業にあたる作業員に対して実施し、安全作業の知識・技術の習得を行うことで、墜落・転落事故の防止に努めています。



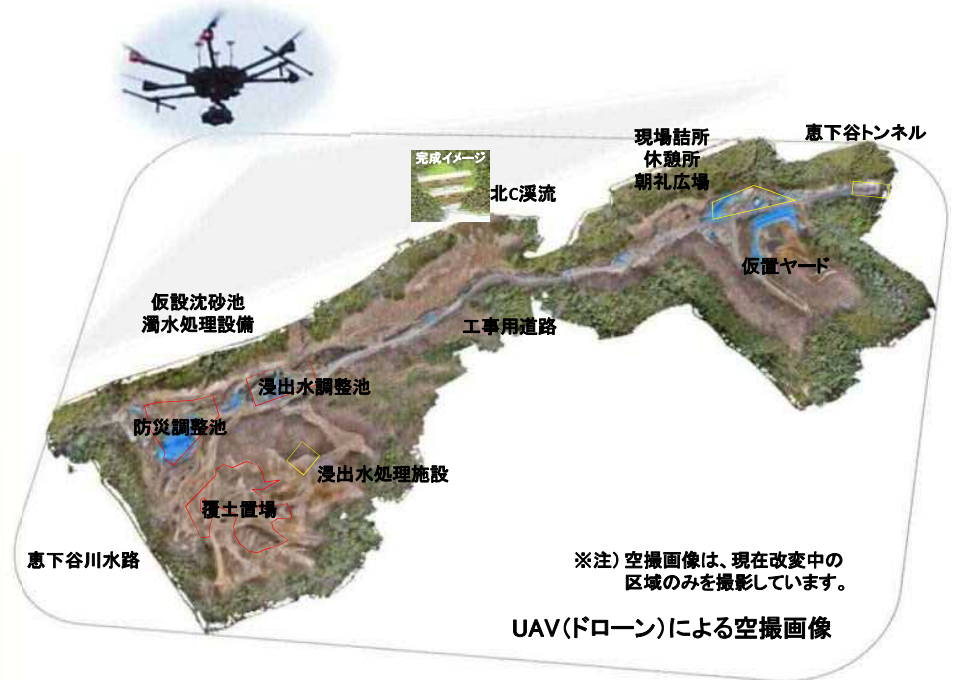
＜UAV測量＞

3月24日に当現場で2度目となるドローン測量を実施しました。1回の飛行時間は20分程度で、5回のフライトにより現場全体を撮影しました。作業員が危険な場所に行くことなく、かつ短時間で現場全体を測量でき、費用と時間を大幅に節約できます。この写真に3次元の位置情報を付加して現況測量や土量管理、また今後施工する構造物の計画に活用していきます。



恵下埋立地(仮称)建設工事 工事だより

第03号
(2017年5月)



【お問い合わせ先】

施工者：大林・洋林・宮川建設工事JV(発行)
安佐南区沼田町大字阿戸166番地
TEL(082)－830－4007

発注者：広島市 環境局 施設部
恵下埋立地建設事務所
TEL(082)－923－6011

<工事進捗状況 (平成28年11月～平成29年4月)>

①防災調整池部の法面掘削



②法面補強工 (鉄筋挿入工・モルタル吹付)



③ボックスカルバート工



④ブロック積工



<関連工事安全協議会>

毎月1回、恵下埋立地 (仮称) 整備事業に関連する工事の関係者 (広島市・元請施工者・施工管理現場技術員) による安全協議会を実施しています。この会議の中で、工事の工程報告、交通規制の予定、工事車両に関する安全注意事項について情報を共有しています。工事関係車両等が近隣に迷惑をかけないように、お互い協力して工事を進めていきたいと思っております。



<廃タイヤ処理工>

現場内に埋まっていた廃タイヤを再生利用するため、まず土砂とタイヤを特殊な機械 (大きな洗濯機のような機械) により分別します。そして重機および人力でひとつひとつ水洗いしたタイヤを中間処理場へ搬出します。



場内運搬

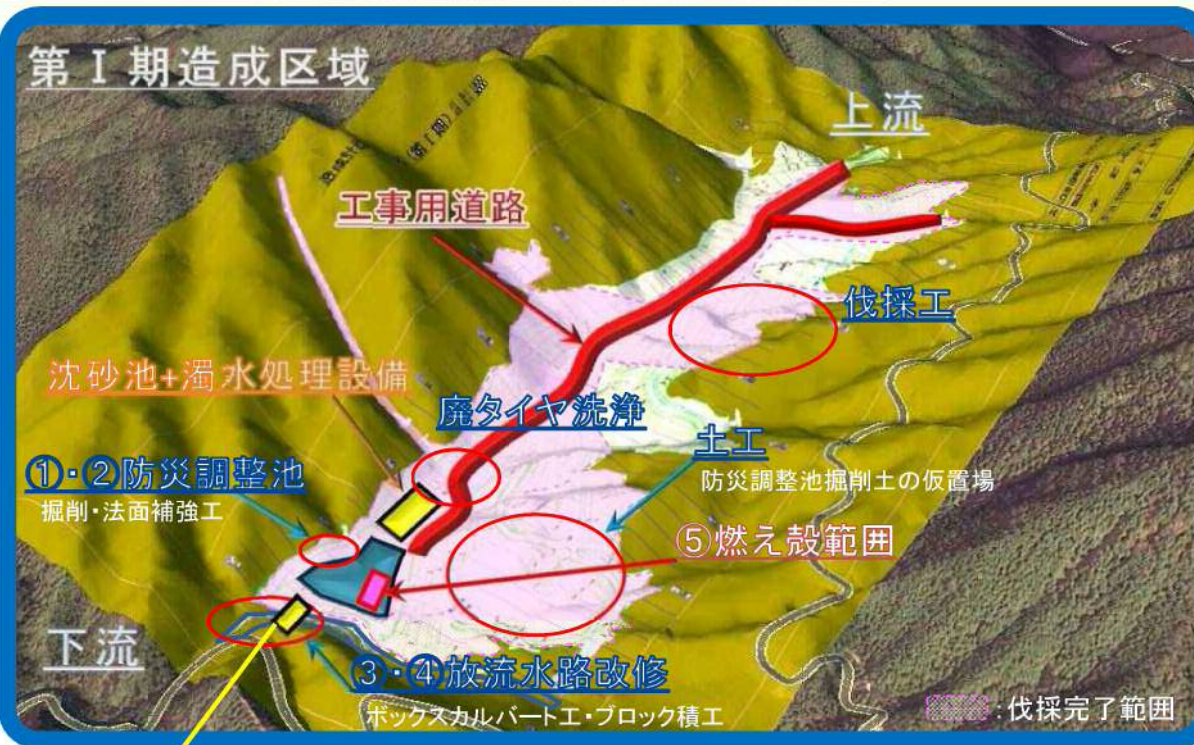


分別



洗浄

第 I 期造成区域



<水質調査>

毎日の濁度・pHの測定および、月に一度の分析試験により、現場から流出する河川水の水質管理を行い汚濁防止に努めています。



追加濁水処理設備



※5月運用開始

⑤燃え殻範囲飛散防止

現場内で燃え殻が確認された範囲については、撤去工事が始まるまでの期間、シート養生により表面を覆っています。今後は仮設テントを設置して飛散防止対策を行ったのち、撤去工事を行う予定です。



<現況と今後の予定>

1月～2月は雪のため現場作業ができない日が続きました。3月から伐採工を再開し、法面補強工、ボックスカルバート工にも着手しました。今後は、防災調整池のコンクリート工を主に行い、土工、地下水管の設置、土砂流入防止施設工など新しい作業にも着手していく予定です。